

「大丸小学校の地域探訪（いきいき大丸ふるさと探検隊）の取組」

1 学校名

南九州市立大丸小学校

2 学年・人数

1～6年生（計16人）

3 日時・場所

（1）学習会等の日時・場所

平成28年12月11日（日）大丸小学校区

（2）発表の日時・場所

平成28年11月13日（日）校区文化祭での展示（※昨年度分）

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

（1）名称・時代

善積寺跡（ぜんしゃくじあと）中世～近世

（2）特徴

善積寺は、14世紀（室町時代）頃、正菊和尚により創建された曹洞宗の寺院である。江戸時代の『三国名勝図絵』にもその様子が描かれるほどの規模であったが、明治元年（1868年）の廃仏毀釈で廃寺となった。現在は、仁王像や座禅石、歴代住職の墓などが残っている。

5 保存会や地域との連携の具体

いきいき大丸ふるさと探検隊は、校区公民館生涯学習部が平成14年（2002年）から始めた取組である。自分たちの住む地域について理解を深めることを目的に、地域の文化財を訪れたり、住民の方々の協力を得て農業体験などを行ったりしている。今年度は児童・保護者・教職員らが参加して善積寺跡を訪れ、その後みかん狩りを行った。

6 活用の取組の工夫した点

体力づくりのため、校区公民館に集合してからの移動は徒歩で行っている。訪れる場所を理解しやすいように、事前に資料を用意して、当日子どもたちに配布している。

7 取組の様子



校区公民館での説明



善積寺入口でメモを取る子どもたち



歴代住職の墓の前で



座禅石の上で座禅を組む子どもたち

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

- ・ 善積寺はこれまでの活動で一度行っていたので、今回で2回目だった。説明を聞いてどういう場所なのか、さらによく分かった。(4年生)
- ・ 善積寺は2回目で、歩いていくことは楽しかったけれど大変だった。(5年生)
- ・ 自分の住んでいる地域に大きなお寺があることにおどろいた。長い距離を歩いたり、いろいろな体験をしたりして楽しかった。(6年生)

【教職員】

- ・ 一人ではなかなか行けない場所もあり、郷土を知る機会をこのように地域が提供してくれることはありがたい。学校の朝礼などでもそのことについて子どもたちに話をしている。

【校区公民館】

- ・ 地域を知ること、長い距離を歩く(遠行)を主な目的に行っており、文化財もその一環で訪れている。生涯学習部では他にも、環境意識を身に付けるため、川の生態調査を夏に行うなど、子どもたちに対して様々な活動を行っている。